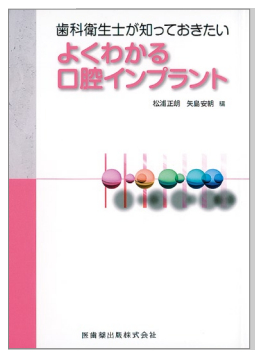


歯科衛生士が知っておきたい よくわかる口腔インプラント

東京都文京区・講道館ビル歯科・口腔外科
河野章江（歯科衛生士）



B5判/152頁
定価 5,880円
(本体 5,600円+税 5%)
医歯薬出版
(2012年10月発行)

私がインプラント治療にかかわるようになったのはここ10年あまりです。それまではインプラントとは無縁な臨床の日々を送っていました。現在のクリニックへの転職をきっかけにインプラント治療に関することを勉強しましたが、インプラントに関する教育や卒後研修が十分整っているとはいえない状況でした。さらに当時は、歯科衛生士向けにまとめられたインプラント関連の書籍も少なく、手術の準備や滅菌の知識は看護師向けの医科の書籍などを参考にしていました。メンテナンスについては長期的な報告が少ないため、さらに苦慮しましたが、いろいろな文献を読み、試行錯誤しながら臨床に取り入れてきました。この10年の間でもインプラント治療は日々進歩し、つねに新しい情報を入手していないと、患者さんによりよい医療は提供できないと感じています。

近年、インプラント治療は広く普及してきています。欠損補綴の1つとして期待される治療法ですが、治療の失敗や医療トラブル

の増加、長期経過を観察するなかでインプラント周囲炎など偶発症の増加も報告されてきています。私たち歯科衛生士も、チーム医療を担う一員として、この問題に真摯に向き合わなければならないと考えています。

本書では、歯科衛生士が主導して関与すべき3つの場面として、メディカルインタビューを中心とした「インプラントの概念説明・情報収集」と、「埋入手術（歯科医師への情報提供および手術器具・環境の整備）」、「メンテナンス」をあげ、これらの場面に求められる要件として、「信頼関係構築のための高いコミュニケーション能力」「インプラント治療に関する正確な知識」「チーム医療の一翼を担っているという意識と優れた技術力」と述べられています。安全・安心の医療を患者さんに提供するためにも、私たちは日々研鑽していかなければならないのです。

本書は、インプラント治療における歯科衛生士の役割、インプラント手術の術前から術中・術後、いわゆる周術期の患者管理と器具管理、そして歯科衛生士が主体的にかかわるメンテナンスに至るまで、歯科衛生士に必要な情報が網羅された成書です。大学病院で実際にインプラント治療に携わっている歯科医師・歯科衛生士によって書かれており、個人診療所の外来でも実際に取り入れることができるよう、具体的にわかりやすい内容になっています。まさに待望の1冊といえます。

これからインプラント治療にかかわろうと学んでいる方、すでにインプラントにかかわっている方にも必ず読んでいただきたいと思います。